

## 町民サロン（楽しい会議）の実施状況について

未来デザイン研究部

## 1. 報告（報告日時点の情報）

## 1.1. 開催実績

開催 10 回、参加者 約 190 人（延べ人数）

No.	日付	会場	対象	参加人数
1	2019 年 11 月 12 日	役場分館	希望者	17
2	2019 年 11 月 26 日	町民会館	希望者	16
3	2019 年 12 月 5 日	役場分館	役場職員（策定主任者）	23
4	2019 年 12 月 12 日	黒川マルケ	保育園児のママなど	10
5	2020 年 1 月 14 日	町民会館	スポーツ推進員	19
6	2020 年 1 月 24 日	クオーレ	林業担い手育成協議会	30
7	2020 年 1 月 27 日	役場分館	白川町議会議員	14
8	2020 年 1 月 31 日	役場分館	せせらぎネットワーク	19
9	2020 年 2 月 5 日	役場分館	役場職員（係長）	22
10	2020 年 2 月 14 日	黒川小学校	黒小 6 年生、先生他	17

## 1.2. 参加者アンケート結果 ※無回答については集計せず。

<b>1</b>	<b>総合計画や6次総について知っていましたか？</b>		
	はい		80
	少し（広報や夏祭り会場）		36
	いいえ		36
<b>2</b>	<b>6次総について関心を持つキッカケになりましたか？/町民に関心を持って貰う参考になるといいますか？</b>		
	はい		148
	いいえ		2

・「総合計画」というものの存在、特に「6次総」の計画について周知し関心を持ってもらう、という目的の一つは果たせていると思う。

・2019年8月以降、広報や夏祭り会場で、「6次総」PRを行ってきたが、それにより“少し”知っていた、という回答も少なからずあった。

<b>3 「6次総・意見出しの場」に参加して楽しかったですか？</b>		
	はい	146
	いいえ	0
<b>4 時間配分について教えてください。※約120分のプログラム。</b>		
	長い	4
	ちょうどいい	119
	短い	19

・未来部で試行し検討した内容に沿って作成した“進行表（別紙1）”を用いて、参加者の気分を盛り上げ、発言を引き出す効果をあげている。

※進行表は、基本プログラムに沿いながら、対象団体に応じてカスタマイズしている。

・また参加したい、という感想も 20 名近くあった。

・時間は、正味 100 分程度だが、場の雰囲気を見つつ休憩を挟んだり、部分的に延長する必要があることを考慮すると 120 分がベスト。

<b>5 「6次総・意見出しの場」に参加した感想を教えてください。※別紙</b>
--

※個々の感想は別紙のとおり

<b>6 あなたのことを教えてください(回答者属性)。</b>		
	男	99
	女	65

年代

小学生	9
中学生	2
高校生	0
20代	8
30代	27
40代	47
50代	35
60代	29
70代以上	6

居住地区

白川	20
白北	14
蘇原	47
黒川	42
佐見	20
町外*	10

\* 東白川, 下呂, 美濃加茂, 川辺  
中津川, 愛知県, 多治見, 無回答

・参加者の居住地区として、蘇原が一番多いのは、役場職員の数が多いため。黒川が二番目に多いのは、黒川地区の保育園ママ向けに実施した回および黒川小学校6年生向けに実施した回の影響。

## 2. 今後の予定

### 2.1. 2019年度中

- 町内各地での掲示（3/1～31 予定）→課題 3.1.  
各地区ふれあいセンター、町民会館、図書館、白川口駅、子育て支援センター
- 報告書の作成と企画課への提出（3月中）

### 2.2. 2020年度（詳細未確定）

- 町内5地区での開催→課題 3.2.
  - ・ 5月頃想定
  - ・ プログラム練り直し検討中
- その後の動きについては未定→課題 3.3.  
→

## 3. 課題

3.1. 『意見出しの場』で出たアイデア（8年でこうなってる！宣言）等の活用。  
特に、参加していない人も含めて共有する方法など、検討中。

3.2. 5地区での開催に向けた準備

- 参加者募集方法、定員等要検討

3.3. 『意見出しの場』終了後の動き

- 『6次総・意見出しの場』をキッカケとして生まれた良い流れ・・・自分が住む町のことについて当事者意識を持って考えたり、アイデアを出したり、話しあったり・・・を、ここで途絶えさせることなく、つなげていけると良いと思う。
- そのためには、6次総策定に向けた公聴期間終了後も、町民みんなが当事者意識を持てるような場があると良いと考える。
- 具体的には、6次総策定後も、“町民の声”をあげる・共有できる場として認知されるような、今回の『意見出しの場』のような『場』を用意できると良いと考える。  
※開催頻度、場所、未来部の関わり方については要検討。

以上